

# 栃木県北の放射能の状況 福島甲状腺がんの状況 について

2015年1月25日

那須希望の砦総会

(文責 竹原)

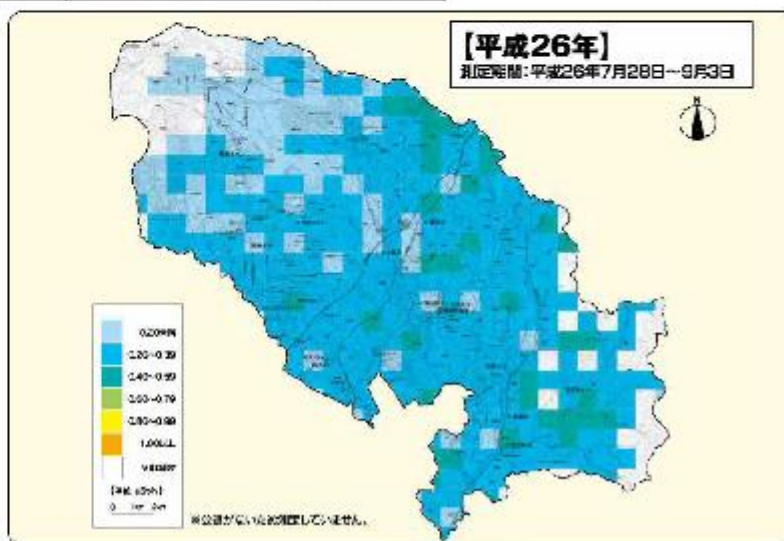
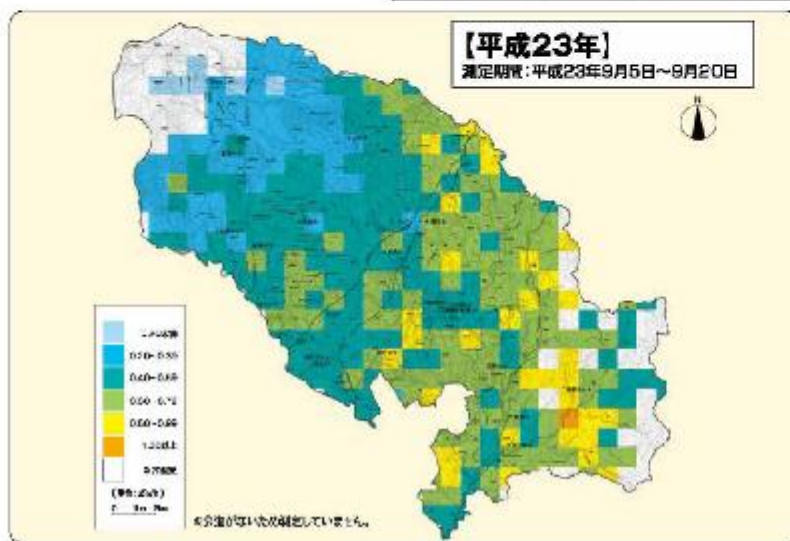
# 現在の放射能の状況

那須町の空間線量は、半分になりました。  
放射能はもう問題ないのでしょうか？

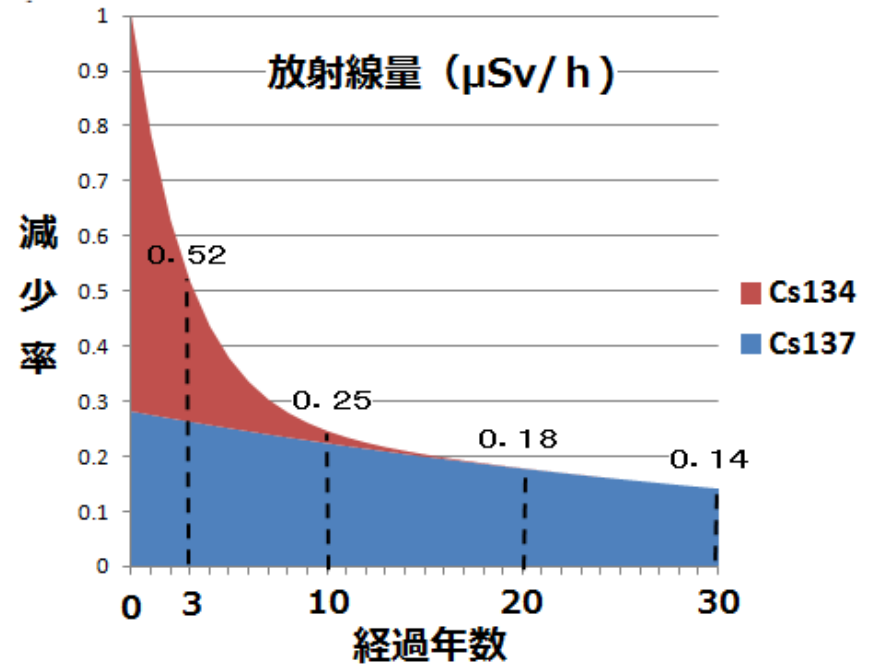
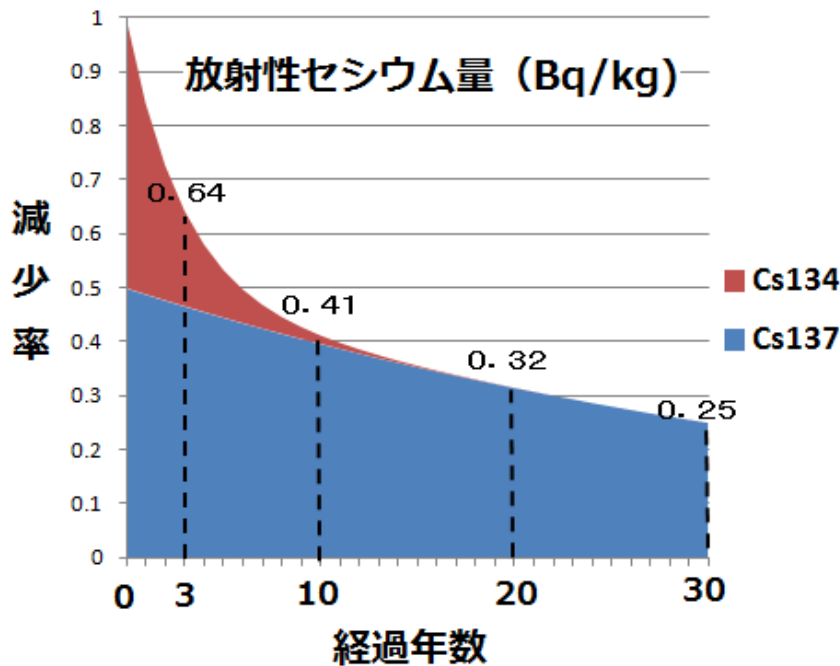
全測定箇所の平均測定値

測定期間	平均測定値
平成23年度(H23.9. 5~9.20)	0.55 $\mu$ Sv/h
平成24年度(H24.8. 3~9.11)	0.46 $\mu$ Sv/h
平成25年度(H25.8. 5~9. 6)	0.33 $\mu$ Sv/h
平成26年度(H26.7.28~9. 3)	0.27 $\mu$ Sv/h
平成23年度と平成26年度の比較	$\Delta$ 0.28 $\mu$ Sv/h ( $\Delta$ 51%)

那須町広報  
14年11月



# 放射能の経時変化

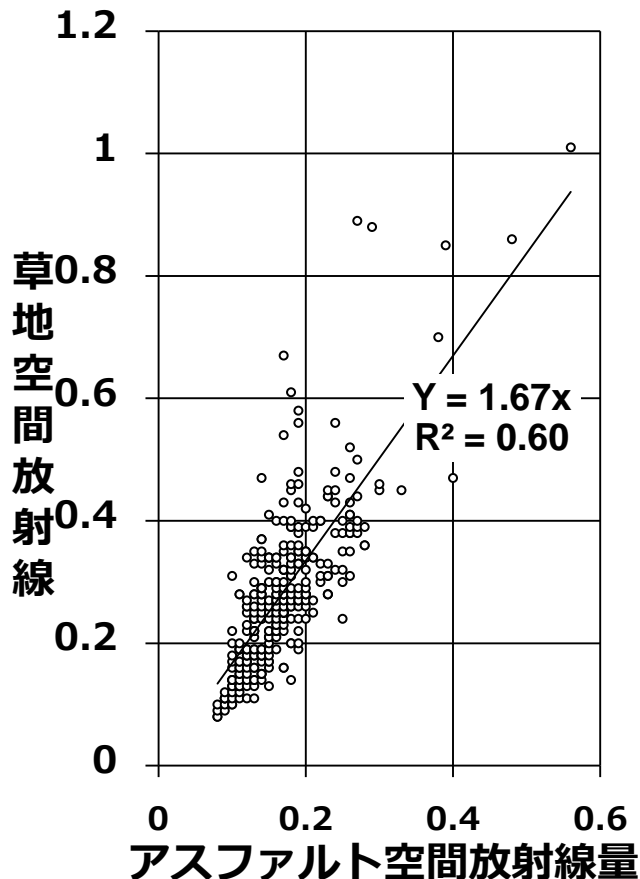


放射能の量は、核種毎の半減期の違いにより変わります。  
(半減期 Cs134 : 2年、Cs137 : 30年)  
Cs137は、今後何十年も残ります。

放射線量は、核種毎に出す放射線のエネルギーにより変わります。  
(エネルギー比 Cs134 : Cs137 = 2.7 : 1)

# モニタリングポストの値

草地は、アスファルトの1.7倍となります。  
アスファルト表面が、雨で洗われているためです。



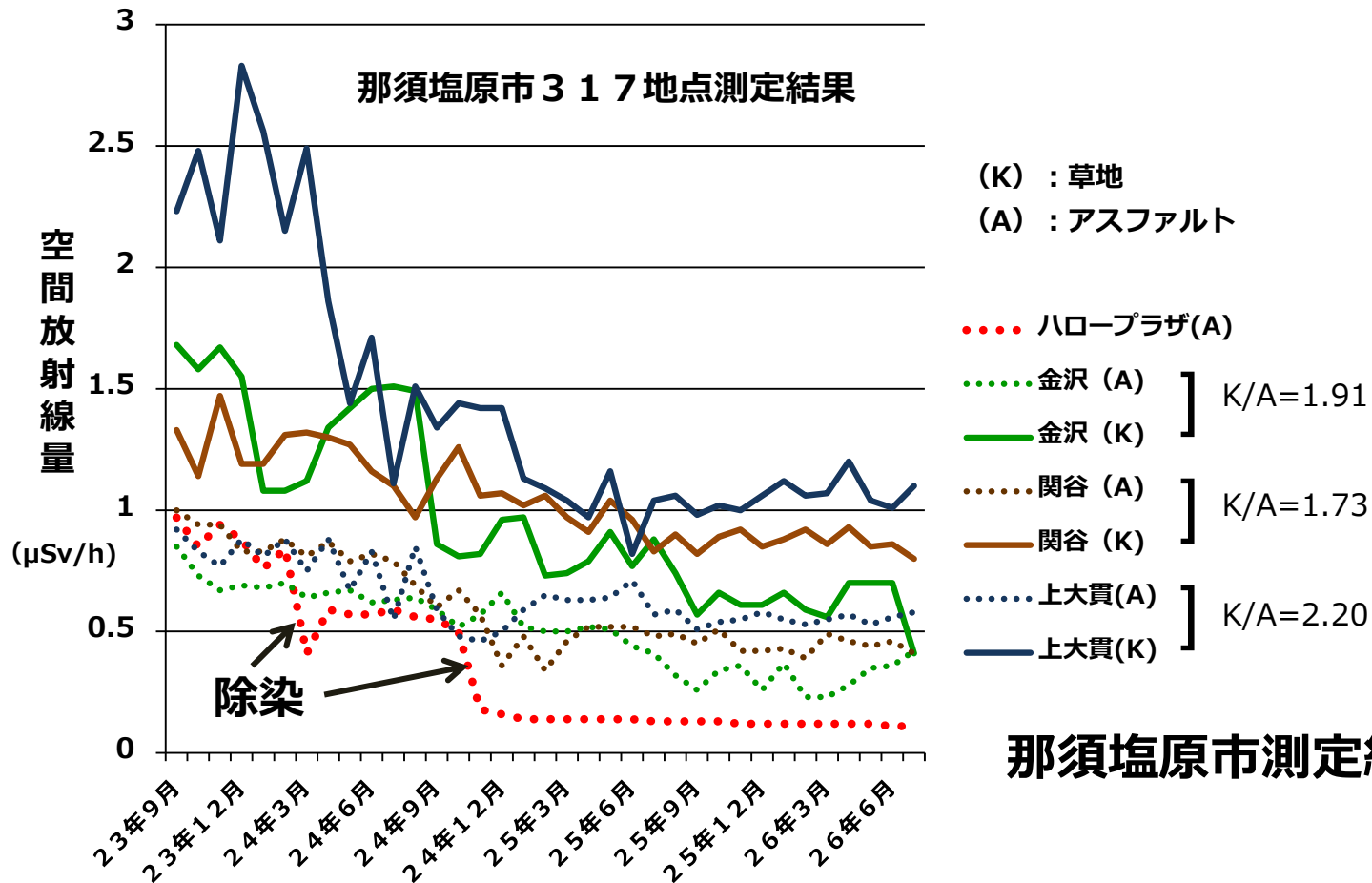
- ・モニタリングポストは、アスファルトや砂利の上であり、家の周りは、草や土です。

モニタリングポストの値の1.7倍が実際の値です。

2014年6月（那須塩原市広報）  
那須塩原市317地点測定結果  
（アスファルト、草地の両方を測定）

# アスファルトと草地の比較

点線は、モニタリングポスト（アスファルト）  
 実線は、草地（点線より1.7倍～2.2倍高い）  
 除染をすれば下がる（ハロープラザ）



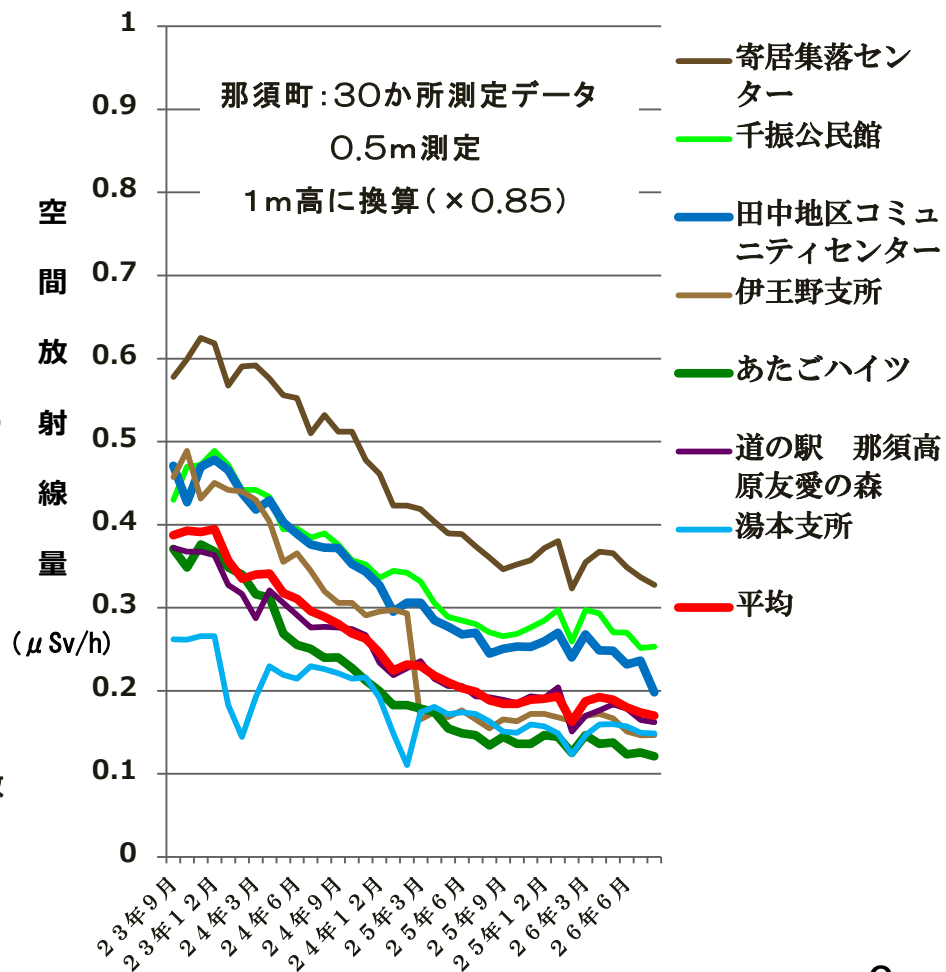
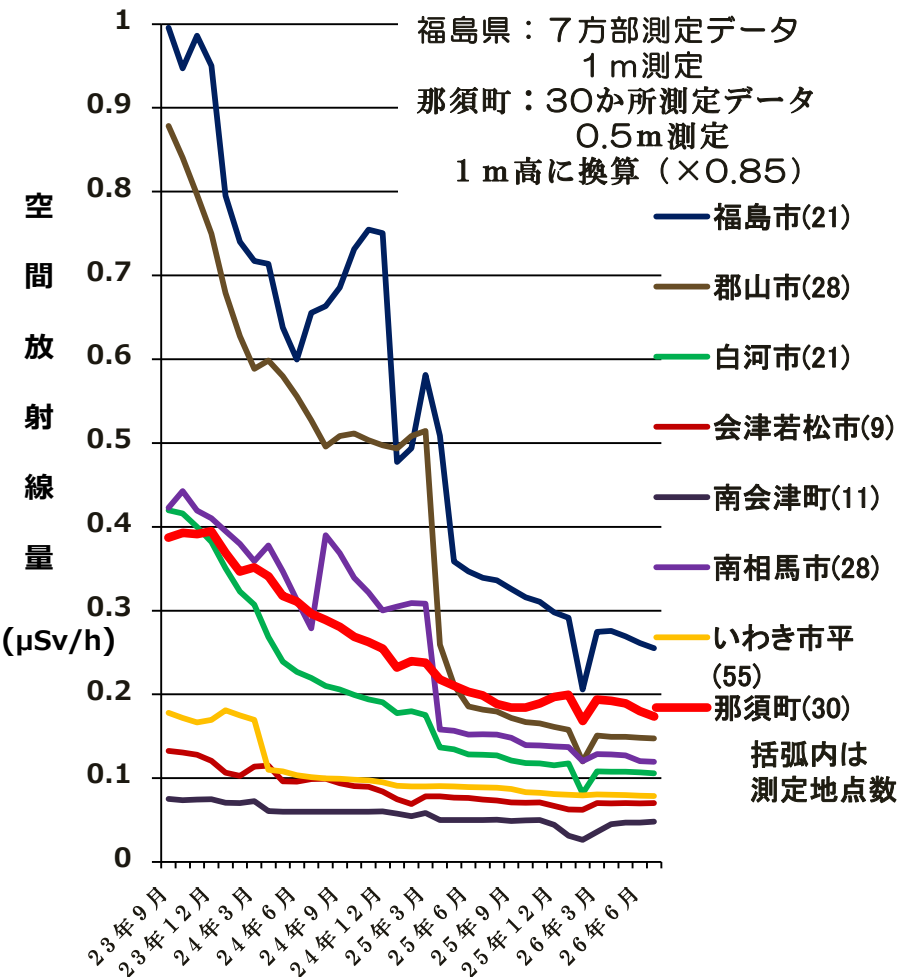
# 那須町、福島県放射線量比較

那須町は、福島県といい勝負です。

現在、福島県は表土除去除染したため、那須町より低くなっています。

## 福島県7方部データ

## 那須町マップデータ

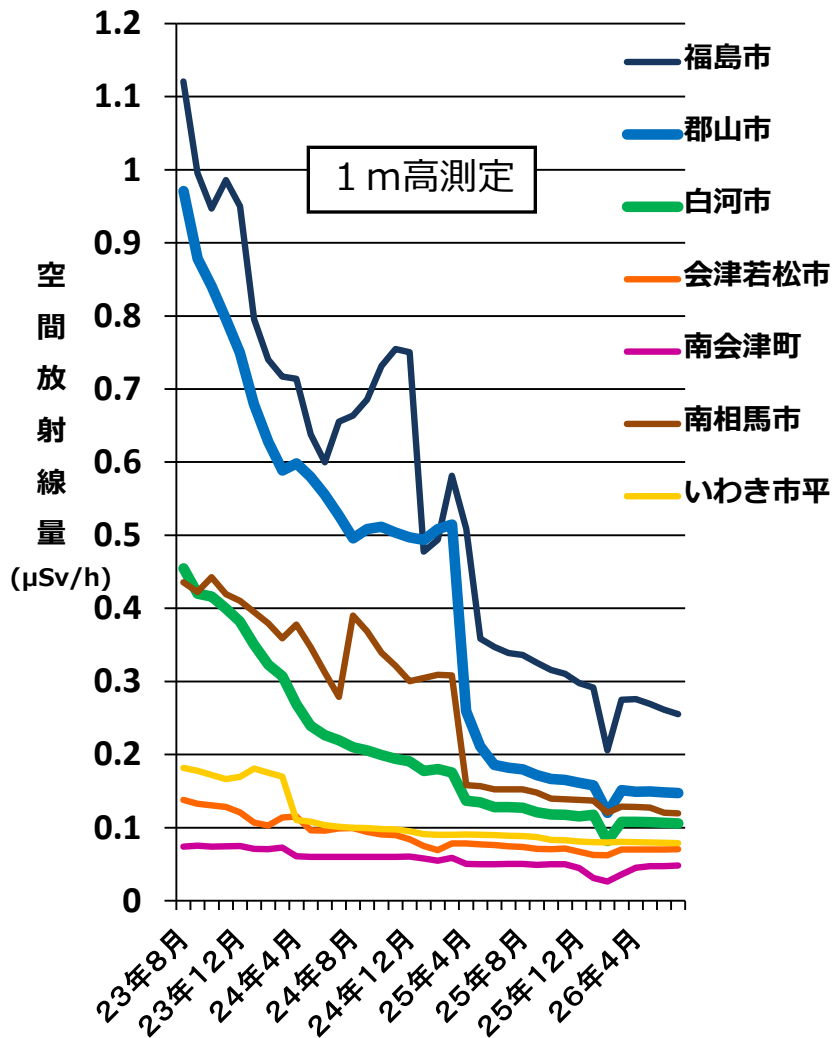


# 那須塩原市、福島県放射線量比較

那須塩原市も福島といい勝負です。

上大貫は除染されないため、高い線量のままとなっています。

福島県7方部データ



那須塩原市データ

